

ふたりの 最期の7日間

2年前、ある新聞投稿欄に71才の男性の文章が掲載され大きな話題となりました。
がんで亡くなる妻が病室の枕元のトートに「七日間」という詩を残しておられます。
その詩をご紹介します。

「七日間」

神様お願い この病室から抜け出して七日間の元気な時間をください
一日目には
台所に立って 料理をいっぱい作りたい
あなたが好きな餃子や肉味噌 カレーもシチューも冷凍しておくわ
二日目には
趣味の手作り 作りかけの手織りのマフラー
ミシンも踏んでバッグやポーチ 心残りがないほどいっぱい作る
三日目には
お片付け 私の好きな古布や紅緞
どれも思いが詰まったものだけど どなたか貰ってくださいね
四日目には
愛犬連れて あなたとドライブに行こう
少し寒いけど箱根がいいかな 思い出の公園手つなぎ歩く
五日目には
子供や孫の 一年分の誕生会
ケーキちゃんと11個買って プレゼントも用意しておくわ
六日目には
友達集まって 憧れの女子会しましょ
お酒も少し飲みましょか そしてカラオケで十八番を歌うの
七日目には
あなたと二人きり 静かに部屋で過ごしましょ
大塚博堂のCDかけて ふたりの長いお話しましょ
神様お願い七日間が終わったら
私はあなたに手を執られながら 静かに静かに時の来るのを待つわ
静かに静かに時の来るのを待つわ

おじとうさん だより

いつも

ありがとうございます。

お時間の許すときには

お詫び頂けると嬉しいです。)

2020年2月
Vol.177



作者:鳥越介順

いっしょに保険を選びましょうオフィス鳥越

息子に怒られるんやわ

ある80歳を過ぎたご老人のお話を聞いていると 息子さんに怒られる、
怒られると言われるのです。 息子さんも 私はよく知っているが どんなに
怒るような人ではないのです…??

別の場面 另のご老人より 同じような話を聞く機会があり
ある結論にたどり着いた。

それは、ご老人になると 息子や娘が 気を遣って言うことばが
怒られているように聞こえるようです。 ※耳が遠いので大きな声に
なることもあります。

例 〇〇〇〇には気をつけなさい
〇〇〇〇〇はしたらダメよ
早く〇〇〇〇した方がいいよ
ごはんはしっかり食べなさい 等々

何気なく言ってしまっている気遣いの言葉が
怒るとキツえらねるようです。
優しさが親を困らせているとは 気をつけたいものです。

